

2019 年度（令和元年度）

学校関係者評価 報告書

学校法人巨樹の会
福岡水巻看護助産学校

本報告書は、学校法人巨樹の会 福岡水巻看護助産学校の職業実践専門課程認定に関わる学校関係者評価委員会の評価結果を記したものである。

2020 年 6 月 23 日

学校長 矢野公一

学校評価実施責任者
副学校長 赤野志保美

<目次>

1. 学校関係者評価の概要と実施状況
 - 1) 学校関係者評価の目的、方針
 - 2) 学校関係者評価委員
 - 3) 学校関係者評価委員会の開催
 - 4) 学校関係者評価の実施

2. 学校関係者評価の内容
 - 項目Ⅰ 教育理念、教育目的・目標、人材育成像
 - 項目Ⅱ 学校運営
 - 項目Ⅲ 教育活動
 - 項目Ⅳ 学修成果
 - 項目Ⅴ 学生支援
 - 項目Ⅵ 教育環境
 - 項目Ⅶ 学生の受け入れ、
 - 項目Ⅷ 財務
 - 項目Ⅷ 法令等の遵守
 - 項目Ⅹ 社会貢献、地域貢献

1. 学校関係者評価の概要と実施状況

1) 学校関係者評価の目的、方針

- ① 関係業界・職能団体、高等学校、卒業生、学生保護者、地域住民などの学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その妥当性を確認し、客観性・透明性を高めることを目的とする。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営・教育活動における課題を明確にし、その意見を参考に学校運営の改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「専修学校における学校評価ガイドライン」、および本校の学校評価実施規程に則り実施する。

2) 学校関係者評価委員

委員氏名	所属	選出区分
牛島 美智子	福岡新水巻病院 看護部長	企業委員
松田 貢二	社会福祉法人 水巻町社会福祉協議会 前会長	地域住民
松山 宏	北九州市立楠橋市民センター 前館長	地域住民
松村 賢一	福岡新水巻病院 看護師	卒業生

※敬称略、順不同

3) 学校関係者評価委員会の開催

- 第1回委員会 日時:令和元年9月25日(水)10:00~12:00
場所:福岡水巻看護助産学校 1階会議室
- 第2回委員会 日時:令和2年3月25日(水)10:00~12:00
場所:福岡水巻看護助産学校 1階会議室

4) 学校関係者評価方法

令和元年度の自己評価に基づき、評価結果の妥当性を確認し、課題や改善が望まれる項目、その解決の方向性について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- ① 自己評価の結果および内容が適切かどうか
- ② 課題やその解決への方向性が適切かどうか
- ③ 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- ④ 学校の運営に関する助言

2. 学校関係者評価の内容

学校関係者評価、自己評価に共通して、各項目の評価は下記に示す達成度による4段階の評定基準にて実施する。

【評定基準】

- S : 達成度がきわめて高い (達成度が高い)
 A : ほぼ達成している (概ね達成しており、明らかな改善は要しない)
 B : 達成がやや不十分である (若干の改善を要する)
 C : 達成が不十分である (不適合がある、明らかに改善を要する)

項目Ⅰ 教育理念、教育目的・目標、人材育成像

総括

教育理念を念頭に置き、教育の指針とし、学校全体の運営を始め学年目標など全てにおいて教育理念に沿った内容になっている。学生便覧、パンフレット、webサイト等で公表し、保護者会等を通して説明するなど、周知を図っている。また、社会情勢、医療情勢を鑑み、社会が求める看護実践能力の向上に向けた教育を目指している。

課題及び今後の改善方策

本校の教育目的は、社会に貢献する有能な人材を派遣することであるため、社会のニーズに応じた人材の提供ができていないかについての評価が必要だと考える。今後は、関連施設などの就職先の現場が求める人材やその育成等についての意見交換ができる場を設けてさらに連携した教育ができるようにする。

学校関係者評価委員会からの意見

新型コロナウイルスの蔓延により、医療業界で働く人々への負担や期待が従来以上に増している中、専門知識の学習と人格教育、倫理教育も今まで異常の取り組みが必要と考える。

小項目Ⅰ-1

教育理念・目的・目標、人材育成像は定められているか

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目Ⅰ-2

教育理念・目的・目標、人材育成像、特色などが、学生・保護者、関係業界(高校、病院、実習施設など)に周知されているか

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目Ⅰ-3

教育目的・目標、人材育成像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

項目Ⅱ 学校運営

総括

学校運営会議などで運営方針について検討し、学校運営に関する規程及び組織に関する規程等を整備して学校運営を行っている。情報管理や重要書類の管理等に係る業務については、学事システムを導入し業務の効率化を図っている。

課題及び今後の改善方策

学事システムの導入により、学籍管理、各種証明書の発行等業務の効率化が図られているが、現行のシステムでは作業が複雑である内容もあるため、今後システムの変更が必要である。

学校関係者評価委員会からの意見

特になし

小項目Ⅱ-1

教育理念・目的・目標等に沿った運営方針が策定されているか。

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目Ⅱ-2

運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目Ⅱ-3

情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

■自己評価：B ■学校関係者評価：適正

■コメント

自己評価では、昨年A判定からB判定に下がっている。現状の問題として、学生の出欠管理の作業の複雑化があがっており、今後システムの改良が求められる。

項目Ⅲ 教育活動

総括

教育理念に基づいた教育課程の編成を行っており、年度末に、学年別教育目標の評価を実施し、次年度の教育課程編成を考えている。キャリア教育・看護実践能力の向上に関する教育内容、方法の工夫を図るために、様々な研修への参加を支援し、自己研鑽に努めていける環境を作っている。シミュレーション教育にも積極的に取り組んでおり、看護実践能力の育成に繋がるような教材を揃え、学生からの授業評価の結果もふまえ、つねに新しい教授方法を模索しながら、授業に取り組んでいる。

課題及び今後の改善方策

授業評価については、毎年科目担当が変わるため、次年度に評価が活かしきれないところがある。教員間での評価を取り入れていく必要がある。

学校関係者評価委員会からの意見

様々な学生受け入れの状況下で、成績向上だけでなく、仲間意識(チームワーク)の構築など人間関係を必要とする取り組みが重要となると考える

小項目 Ⅲ-1

教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 Ⅲ-2

キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 Ⅲ-3

授業評価の実施・評価体制はあるか。

■自己評価: B ■学校関係者評価: 適正

■コメント

授業評価に関する体制作りの必要がある。

小項目 Ⅲ-4

資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 Ⅲ-5

関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など、資質向上のための取り組みが行われているか

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

項目Ⅳ 学修成果

総括

関連施設が充実しており、就職先の選択を早い時期に決定することができ、就職率が100%であることから、卒業後の目標が明確となり、国家試験に向けての取り組みに繋がっている。国家試験対策に関する研修会に多くの教員が参加することにより、学習支援に努めている。途中での進路変更により退学をする学生もいるが、学生個々に応じた関わりを行い、本人にとってベストな選択ができるよう保護者も含め面談を繰り返し行うなど支援を行っている。

課題及び今後の改善方策

国家試験対策については、卒業年次の該当者が全員合格することを前提として考えると、入学時から継続した取り組みが必要となる。そのためにも学生が平等に学ぶことができるよう、研修などを通して教員の指導力の強化を図っていきたい。

学校関係者評価委員会からの意見

国家試験合格率100%を目指すためには、授業、模試、実技など様々な取り組みだけでよいとは限りません。成績が伸び悩む学生へのケア、サポートが求められると考えます。

小項目 Ⅳ-1

就職率の向上が図られているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特に問題ない

小項目 IV-2

国家試験合格率が良好であるか

■自己評価: B ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 IV-3

退学率の低減が図られているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 IV-4

学生の社会的な活動を把握しているか。

■自己評価: B ■学校関係者評価: 適正

■コメント

改善が難しい内容である。学生の入学前の社会的活躍などを把握していく必要がある。

項目 V 学生支援

総括

進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制は十分にとれている。また、保護者会を各学年で年2回実施し、何かあれば時宜を逸することがないように保護者への連絡を行うなど、学生支援は十分になされている。また、高校訪問を通してキャリア教育について説明を行い、関係業者等より依頼があれば高校に赴き説明をしている。修学支援については、学校説明会やHPなどで情報提供をおこなっている。

課題及び今後の改善方策

特になし

学校関係者評価委員会からの意見

保護者会が実施されていることはとても大切である。保護者と共に様々な問題に向き合うことが必要だと考える。

小項目 V-1

進路・就職に関する支援体制は整備されているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 V-2

学生相談に関する体制は整備されているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

カウンセリング室などは、学生が少し息を抜けるような場の提供が必要である。

小項目 V-3

保護者と適切に連携しているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 V-4

高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 V-5

修学支援体制が整っているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

項目 VI 教育環境

総括

看護師養成所の運営ガイドライン(別表9)に基づき器械器具、標本、模型及び図書(雑誌)は整備しており、学習環境は整備されている。関連の実習病院では、専任の実習指導者を配置し、学生用の器材、学習スペースを設けるなど環境の整備がなされている。防災管理については、消防計画書に定められている通り、年1回の消防訓練をおこなっている。

課題及び今後の改善方策

特になし

学校関係者評価委員会からの意見

特になし

小項目 VI-1

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目 VI-2

学内外の実習施設等について十分な教育体制を整備しているか。

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目 VI-3

防災に対する体制は整備されているか。

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし。

項目VII 学生募集**総括**

学校説明会、HPなどを通して情報提供を行っている。また、募集活動としては高校訪問時やガイダンスに参加し、資格取得・就職状況等の情報提供を行っている。

課題及び今後の改善方策

高校教員向けに看護の動向や看護師の資格、本校の特徴等の説明会を計画し、実施した。

高校教員からの評価もよく、今後も継続していく必要がある。

学校関係者評価委員会からの意見

本校の強み、特徴、他校との違いなどもっと分かりやすく表現できると良いのではないか。

小項目 VII-1

高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みを行っているか。

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目 VII-2

学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。

■自己評価：A ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

項目VIII 財務**総括**

本部と各校の財務の二重体制をとっており、予算・収支の妥当性、会計監査等は法人理事会で承認されており、会計監査は適正に実施されている。

課題及び今後の改善方策

特になし

学校関係者評価委員会からの意見

特になし

小項目 VIII-1

中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。

■自己評価：B ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目 VIII-2

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

■自己評価：B ■学校関係者評価：適正

■コメント

特になし

小項目 VIII-3

財務について会計監査が適正に行われているか。

■自己評価: B ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

項目IX 法令等の遵守

総括

保健師助産師看護師法指定規則及び私学専修学校設置基準に遵守しており、毎年、保健師助産師看護師法指定規則第14条、学校基本調査、専修学校実施調査での報告を行っている。個人情報保護については、法人全体で個人情報保護規定を定めている。また、臨地実習においては厚生労働省及び文部科学省のガイドラインに基づき適正に管理している。

課題及び今後の改善方策

特になし

学校関係者評価委員会からの意見

特になし

小項目 IX-1

法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 IX-2

個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

項目X 社会貢献・地域貢献

総括

地域交流、ボランティア活動、フィールドワーク等の実施をしており、地域貢献は図られている。また、学校施設を開放し職員研修、研究発表会、健康教室開催、育児支援講習会等に利用していただき、社会貢献を行っている。

課題及び今後の改善方策

特になし

学校関係者評価委員会からの意見

ボランティア活動は人格の形成や社会とのつながりに必ず役立ちます。取り組む目的、理由を明確にして、今後も積極的な奨励を期待します。

小項目 X-1

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

■自己評価: A ■学校関係者評価: 適正

■コメント

特になし

小項目 X-2

学生のボランティア活動を奨励しているか。

■自己評価: B ■学校関係者評価: 適正

■コメント

昨年度の委員からの助言をもとに、地域貢献として水巻駅から学校までの通学路の清掃を実施している。